



平成29年3月17日

日本医療研究開発機構（AMED）の 平成29年度「橋渡し研究戦略的推進プログラム」における 橋渡し研究支援拠点に中四国で唯一採択

岡山大学は3月1日、国立研究開発法人日本医療研究開発機構（AMED）の平成29年度「橋渡し研究戦略的推進プログラム⁽¹⁾」において、橋渡し研究支援拠点（事業担当者：那須保友大学院医歯薬学総合研究科長）に採択されました。

本事業は、生命科学分野の基礎研究の成果を実際の医療に活用するための橋渡し研究（トランスレーショナル・リサーチ）を推進し、基礎研究から実用化まで一貫した流れで日本発の革新的な医薬品・医療機器などを迅速に創出する体制を構築するものです。今回は、北海道大学、東北大学、筑波大学、東京大学、慶應義塾大学、名古屋大学、京都大学、大阪大学、九州大学と本学を合わせて計10拠点が採択されています。

本学は「健康寿命の延伸を目指した次世代医療橋渡し研究支援拠点」という事業課題を設定。日本の高齢化による新たな医療分野での研究開発を見据え、医学、歯学、介護など多様なニーズへ適切に対応できる橋渡し研究拠点を確立します。中四国唯一の橋渡し拠点として他大学を支援し、また自らの自立化を果たすことで、将来にわたって継続して革新的な医療技術の創出に貢献します。

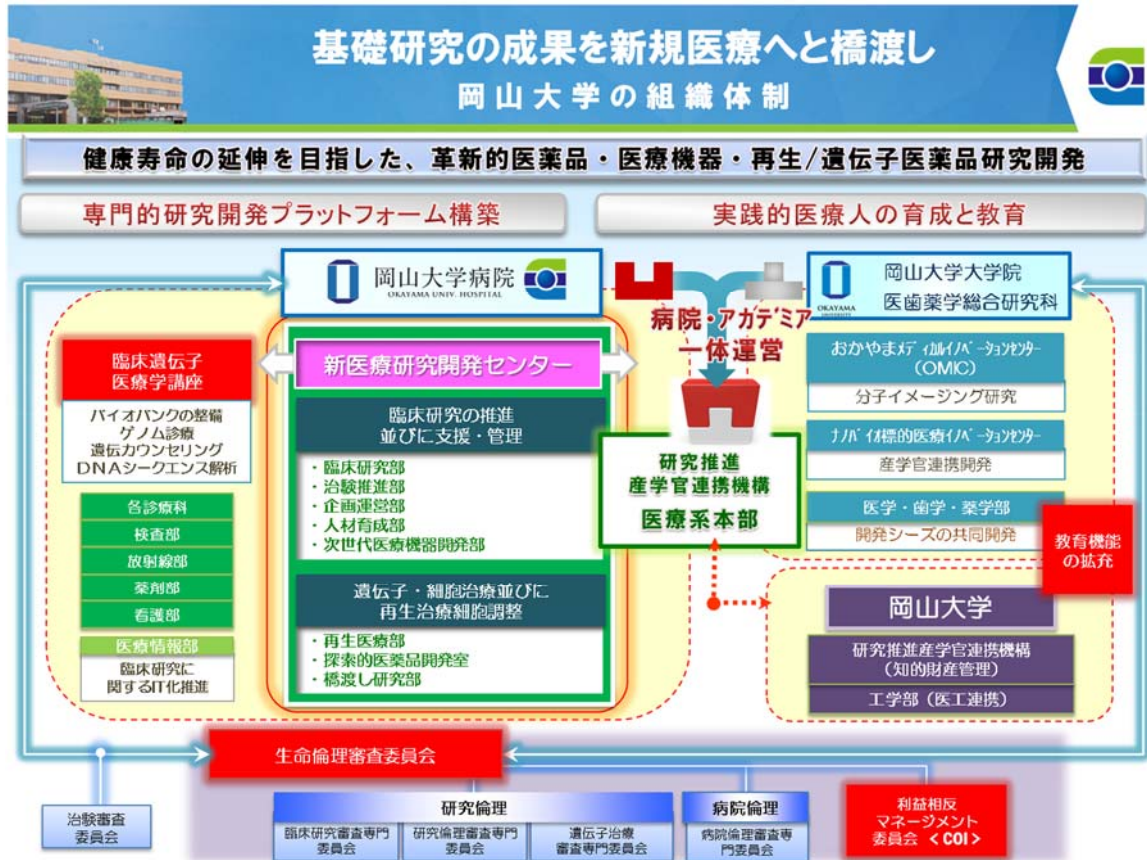
<概要>

本学は3月1日、AMEDが公募した「橋渡し研究戦略的推進プログラム」において、基礎研究の成果を新規医療へと戦略的に橋渡しするための拠点機関として採択されました（事業の実施予定期間：平成29年度から最長5年間）。

今後、他の9拠点と共に、他研究機関のシーズの積極的支援や企業との産学連携を強化し、大学等発の有望なシーズを育成することで、アカデミア等における革新的な基礎研究の成果を臨床研究・実用化へ効率的に橋渡しする体制を構築。革新的な医薬品・医療機器等をより多く持続的に創出することを目指します。

本事業の課題名は、前回の第2期プログラムである「橋渡し研究加速ネットワークプログラム」に引き続き、「健康寿命の延伸を目指した次世代医療橋渡し研究支援拠点」と設定。本学の従来からの強みである難治性固形がんに対する遺伝子治療を代表とする標的医療、小児心不全に対する細胞治療を代表とする再生医療の実用化研究をより強力に推進するとともに、「健康寿命の延伸」に資する医学、歯学、栄養、介護など多様な領域での研究開発を視野に見据え、臨床ニーズへ適切に対応できる拠点を確立、強化させます（図を参照）。

また、本事業のコアとなる研究シーズの探索・集積は、中四国エリアの大学等の研究機関から幅広く行い、一大学の限られたシーズではなくさまざまな分野から多種多様なシーズを集約し、実用化まで支援・育成します。



図：橋渡し研究戦略的推進プログラムに関する組織体制

<期待される効果>

本学は、平成 25 年 8 月に文部科学省が全国の大学・研究機関から選定した「研究大学強化促進事業」⁽²⁾ の選定大学の一つであり、「リサーチ・ユニバーシティ（研究大学）：岡山大学」としての高い研究力を有しています。また、岡山大学病院はこれまで、中四国の基幹病院とのネットワークを活用した大規模な臨床研究や治験を精力的に実施しています。

本学が実施している基礎研究の核となる「研究大学強化促進事業」、臨床研究の核となる「臨床研究品質確保体制整備事業」⁽³⁾ の二つのプロジェクトに、基礎研究と臨床研究とをつなぐ今回の「橋渡し研究戦略的推進プログラム」という三つ目の核が加わりました。

これら三つの採択大学である強みを最大限に生かして、岡山の地から世界が求める医療を先導し、また、地域の拠点として実効性のある社会貢献の成果を蓄積することで人類の発展に全力で貢献していきます。

<補足・用語解説>

(1) 橋渡し研究戦略的推進プログラム

革新的な医薬品・医療機器等を持続的かつ多く創出し、効果的・効率的に国民へ提供することを目指した事業。

これまで整備されてきた革新的医療技術創出拠点の基盤活用を念頭に置きつつ、全国



PRESS RELEASE

の大学等の拠点において、産学連携、拠点外の機関の研究課題を積極的に支援するために必要な人材・設備等を整備し、シーズ育成能力を強化することで、日本全体としてアカデミア等による革新的な基礎研究の成果を一貫して実用化につなぐ体制を構築することを目的とする。

橋渡し研究支援事業としては、文部科学省が平成 19 年度より第 1 期プログラムとなる橋渡し研究支援推進プログラム、平成 24 年度より第 2 期の橋渡し研究加速ネットワークプログラムを実施しており、平成 27 年度から本事業を AMED が引き継いだ。本学は第 2 期プログラムで拠点に採択された。

(2) 研究大学強化促進事業

大学等における研究力強化を促進し、世界水準の優れた研究活動の支援を目的に、平成 25 年度から始まっている文部科学省の事業。本学を含め 22 の大学、大学共同利用機関法人が選定された。

http://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id2681.html

(3) 臨床研究品質確保体制整備事業

日本発の革新的な医薬品・医療機器の創出等を目的に、国際水準の臨床研究、難病等の医師主導治験及び市販後臨床研究等の中心的役割を担う「臨床研究品質確保体制整備病院」を整備する事業。

開発案件の出口戦略を見据えた適切な研究計画を企画・立案し、国際水準の臨床研究を実施、データの信頼性保証ができることや、倫理性、科学性、安全性、信頼性の観点から適切かつ透明性の高い倫理審査ができることが事業に選定される要件となっている。

<参考>

平成 29 年度「橋渡し研究戦略的推進プログラム（1 次公募）」の採択拠点について：

http://www.amed.go.jp/koubo/050120161212_kettei.html

<お問い合わせ>

岡山大学病院 研究推進課

(電話番号) 086-235-7981